

南越前町立小・中学校等施設 耐震化状況表

学校名	棟名	建築年月	構造※	階数	面積(㎡)	診断状況	Is値 ()内、補強後	福井県 判定ランク	耐震性	備考
河野小学校	校舎棟	S48.3	RC造	3	2691	二次	0.35 (0.80)	C	○	H17 耐震化済
南条中学校	校舎棟	S51.8	RC造	4	2765	二次	0.35 (0.73)	C	○	H21 耐震化済
	屋内運動場	S52.12	RC造 (一部SRC造)	2	1641		0.85 (0.81)	A'	○	
今庄中学校	校舎(普通教室棟)	S55.8	RC造	4	1892	二次	0.31 (0.74)	D	○	H22 耐震化済
	校舎(特別教室棟)	S55.8	RC造	4	1246		0.41 (0.77)	D	○	
	昇降口棟	S55.8	RC造	1	84		1.88	A	○	
	屋内運動場	S57.3	RC造	2	2398		0.45 (0.72)	C	○	
河野中学校	校舎棟	S55.3	RC造	3	2252	二次	0.34 (0.98)	C	○	H23 耐震化済
	屋内運動場	S55.3	RC造 (一部SRC造)	2	1551		0.63 (0.81)	A'	○	
湯尾小学校	校舎(普通教室棟)	S52.8	RC造	3	1607	二次	0.45 (0.77)	C	○	H24 耐震化済
	校舎(保健室棟)	S52.8	RC造	1	112	一次	1.12	—	○	
	屋内運動場	S54.2	RC造	2	778	二次	0.34 (1.01)	C	○	

[公表の内容]

- 1 学校名
- 2 棟名:使用している主な用途等の名称
- 3 建築年月:建物が竣工(完成)した年月
- 4 構造:建物の構造
※RC:Reinforced Concreteの略、鉄筋コンクリート造
※W:Woodenの略、木造
※SRC:Steel Reinforced Concreteの略、鉄骨鉄筋コンクリート造
- 5 階数:その棟の階数
- 6 面積:その棟の延床面積
- 7 診断状況:一次=耐震第一次診断のこと、二次=耐震第二次診断のこと
- 8 コンクリート強度:その棟のコンクリート強度の最低値およびその階数
- 9 Is値:構造体の耐震性能を表す指標(構造耐震指標という)
過去の地震被害の研究から、Is値が0.6以上ある建物は、震度6強程度の大地震に対しても、建物が倒壊や崩壊する危険性は低いと考えられ、逆にIs値が0.6未満の場合は大きな被害を受ける可能性が高くなると考えられており、そのため耐震補強が必要とされている
- 10 耐震化年度:耐震補強が必要とされる建物を地震に強い構造に補強等を行うこと年度
- 11 福井県判定ランク:構造耐震指標(Is値)や構造的バランス等を基に、福井県耐震診断等評定委員会(財福井県建築士事務所協会)において、総合的な判断によりランク分けされたもの

判定ランク	内容	阪神淡路大震災クラスの地震時に想定される被害の程度
A	良好な耐震性を有する	局部的に軽微な被害が出る可能性がある
A'	かなりの耐震性を有する	局部的に軽微な被害が予想される(仮定条件判定の棟も含む)
A*	かなりの耐震性を有する	局部的に軽微な被害が予想される(仮定条件判定)
B	ある程度の耐震性を有する	被害が生じる可能性がある
C	耐震性は劣る	柱、壁等に被害が生じることが予想される
D	耐震性はかなり劣る	柱、壁等に相当の被害が生じることが予想される
E	耐震性は相当劣る	倒壊等の相当な被害が予想される

12 耐震性:○印は耐震性能を満たす棟。無印は耐震性能を満たさない棟。

【新耐震基準[※]で建設された学校等施設】

南条幼稚園(S60.3竣工)、南条小学校(H16.12竣工)、今庄小学校(H19.3竣工)、河野小学校体育館(H19.3竣工)、南条中学校南校舎棟(H3.3竣工)

[今庄幼稚園はH21.3で廃園とし、H21.4から今庄なないろこども園今庄幼稚園となり、新園舎(H21.3竣工予定)への移転が決定していることから、未掲載。]

※新耐震基準とは、昭和56年6月の建築基準法改正で示された現行の耐震基準。

[改定の主旨]「建物を使う人の安全を確保する」ことを目的として、地震によって建物を受ける「力」や「変形」を、より正確に反映した基準に見直された